

Let's become English teachers!

英語教員になろう!

少人数制で授業を行っているため、現役で教員採用試験に合格しています。

英語教員は、国際化社会でますます需要が高まる仕事です。英語学科では少人数制の授業で、理論から実践までしっかり学ぶことができ、中学校教諭一種免許状(英語)と高等学校教諭一種免許状(英語)を取得することができます。

① 学習支援 近隣の中学校を定期的に訪問し、放課後の生徒たちの学習支援を行っています。



② 模擬授業

少人数制の授業なので、全員が模擬授業を経験し、授業のスキルを確実に身につけることができます。



③ 先輩からのアドバイス

教職を目指す1年生から4年生までが集まる機会が年に数度あり、教育実習のことや教員採用試験の準備など、気軽に先輩からアドバイスをもらうことができます。



④ 卒業生による講演会

卒業生や中学校・高等学校の英語の先生方による講演や近隣の小学校・中学校・高等学校への学習支援を通して、現場ですぐに役立つ力を身につけます。

だから、多くの先輩が教員採用試験に**現役合格**しています!

2021年度は、現役で1名が北九州市教育委員会、1名が福岡市教育委員会の採用試験に合格しました。

Let's become Japanese teachers!

日本語教員になろう!

日本語教員になるための充実したプログラムがあります。

日本語教員は、外国人に日本語を教える仕事です。英語学科の日本語教員養成課程では、3年間で日本語教員として必要不可欠な、多くの知識と高度な技術を身につけ、修了証を得ることができます。



日本語の授業は、たくさんの外国人と自然に仲良くなれる場所



外国人相手に日本語の授業を何度も行う教育実習



日本語の授業をイメージしながら行う教材作成

TOPIC

日本語教員養成課程は、国内そして海外でのあなたの将来の可能性を大きく広げることができるプログラムです。大学生活で新たなチャレンジをしてみたい方にオススメです。

Department of English

2023

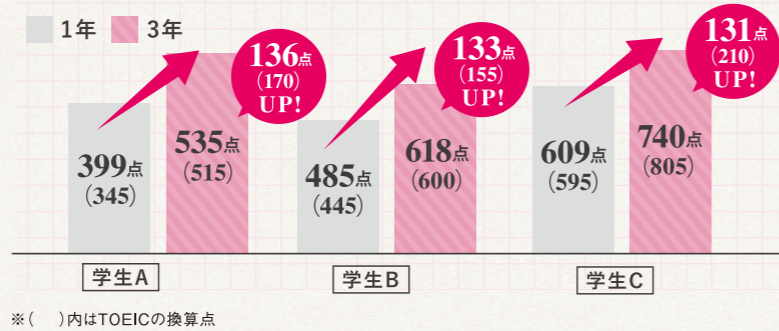


Let's develop our practical English skills!



実践的英語力を伸ばそう!

1年次から4年次まで、英語4技能(聴く・話す・読む・書く)を中心とした体系的な学習ができます。また、女性としてのキャリア開発、地域社会への貢献や諸外国との交流活動などの深い教養を身につけるための科目選択が可能です。さらに入学時と3年生修了時にVELC Test®を実施し、入学してからの英語力の伸びを計測しています。実際、学生のスコアが向上しています。



Messages from graduates

卒業生からのメッセージ

就職先

福岡市(中学校英語教諭)
中村 汐里さん
(福岡県立戸畑高等学校出身)

西南女学院大学では、頑張れば頑張るほど先生方が手厚くサポートして下さいます。例えば、外部で行われる英語プレゼンテーションコンテストに参加する際には英語のスピーチやスライド作りに助言をくださったり、発表の練習をしてくださったりしました。そのおかげで以前よりプレゼンテーション力が身についただけでなく、発音向上などにも繋がりました。また、実用英語技能検定の面接や、TOEIC対策においても、先生方がさまざまな面でご指導くださいました。そして、ネイティブの先生方の授業は、英語学科を4クラスに分けて少人数で行われるため、質問もしやすく、より話す機会が多くなるのでスピーキング力の向上にも繋がりました。また、教員採用試験を受験する際には、西南女学院大学の友達と一緒に対策しました。このように、夢に向かって共に頑張ることのできる友達もできました。更に、西南女学院大学は楽しいイベントも多く、楽しいキャンパスライフを送ることができます。卒業した今は、西南女学院大学でよかったと思うし、自分にとっても合っていたと思います。



就職先

北九州市(中学校英語教諭)
岩崎 江里子さん
(福岡県立戸畑高等学校出身)

私が本学に入学した主な理由は、少人数制でのクラス編成、充実した留学制度かつ教職課程をとることができる点に魅力を感じたからです。英語の授業では、少人数での授業が行われるため、学生間だけでなく、先生と学生のつながりが深く、より学びを深めることができました。また、学科全体のイベントも充実しているため、クラス外の仲間とも交流を通して、楽しみながら英語力を向上させ、互いに学ぶ意欲を高めることができる点が、本学の良いところであると思います。さらに、留学制度では、留学経験のある先輩や先生のサポートはもちろんのこと、留学で学んだ英語でのコミュニケーション力をさらに向上させるためのイベントを多く設けてくださいました。そのおかげで、知識を修めるだけでなく、大学生活以外の新しいことに挑戦することの大切さを知ることができました。今の私があるのはこの西南女学院大学のおかげであると思います。卒業後は、地元の北九州市立の中学校教諭として、多くの生徒たちに英語を学ぶ楽しさを伝えていきたいと思っています。

就職先

シャボン玉石けん株式会社
皆川 佳慧さん
(福岡県立小倉商業高等学校出身)

私は、高校時代に将来の夢がはっきりとはしていませんでした。大学生になりたい気持ちがあり、様々なことに挑戦できる西南女学院大学で4年間過ごそうと考え入学しました。入学すると外国人の先生と日本人の先生がいて、先生方の会話も英語や日本語が飛び交い、それだけでもワクワクしました。大学に入学後、ある先輩からのお誘いでゴールデンズクラブという団体でのボランティア活動に挑戦しました。自身が学生という立場ながらも在学中には公立中学校での放課後英語指導やカンボジアでの教育支援など様々な活動に参加させていただく機会がありました。活動から得た経験から地元と地球環境に貢献したいという気持ちが大きくなり、最終的には希望の仕事に就くことができました。大学生活で得たものは、今の自分の糧となり、自分が学んできたことを発揮できる環境で働くことができます。西南女学院大学では、親身になってくださる先生方ばかりで、先生方のお言葉に幾度となく救われました。自分のやりたいことを全力で応援してくれる環境があるからこそ、様々なことに挑戦し頑張れると思います。この大学で4年間過ごすことができ本当に良かったと思います。

2022年卒業生の進路 北九州市(英語教諭)、福岡市(英語教諭)、鹿児島県(英語教員)、楽天銀行株式会社、楽天カード株式会社、共栄火災海上保険株式会社、ネットヨタ北九州株式会社、シャボン玉石けん株式会社、ダイワボウ情報システム株式会社、鳥栖キュービー株式会社、社会医療法人財団池友会 新小文字病院、公益財団法人健和会 大手町病院、医療法人社団寿量会 熊本機能病院ほか



Let's study abroad!

西南女学院大学から世界へ羽ばたこう!

英語学科では、さまざまな形態の留学を提供しています。



姉妹校・協定校・認定校での海外留学

2年生後期から、英国、ニュージーランド、カナダなどに半年間または1年間留学するプログラムがあります。条件をクリアできれば、4年間で卒業可能です。

※2022年度の実施に向けて準備中です。

科目の一部として行う海外研修

「欧米文化交流研修A・B」および「アジア文化交流研修A・B」
(それぞれ、2単位の選択授業)

12回の座学授業を受けた後、夏期休業中に3週間の海外研修に出かけます。「欧米文化交流研修」は英国やカナダ、オーストラリア、ニュージーランドなど、「アジア文化交流研修」は中国の大連や上海などが実習先となっています。海外の大学で語学や文化を学び、異文化交流体験をすることができます。教員が引率するので安心してご参加頂けます。

※2022年度の研修は国内で実施予定です。



春休みの短期留学

春休みの3週間を使って、ニュージーランドのティマルで短期留学が実施されます。ホームステイをしながら、英語の授業を受けたり、様々な文化体験に参加したりすることができます。ティマルはとても安全な街で、本学教員が引率しますので、安心です。初めての海外体験に向いています。

※2022年度の実施は検討中です。

Why study abroad? なぜ留学するの?

私は大学2年生の時にニュージーランドのネルソンで半年間留学をしておりました。協定校であるNMIT(Nelson Marlborough Institute of Technology)で各国から集まるクラスメートと共に英語を学ぶとともに、異文化交流を楽しみました。高校生の時に1年間のホームステイの経験があるのですが、大学では学生アパートで3人のルームメイトとシェアハウスしながら笑いに溢れた日々を過ごしました。社会人になった今でも繋がりが残り、シンガポールまで駆けつけたルームメイトの結婚式でまたみんなと再会できたのは一生の思い出です。自分だけで飛行機に乗り、勇気を振り絞って自分から英語で話しかけ、長期間海外で生活をしたという経験が、帰国後の自分に大きな自信とエネルギーを与えてくれました。それが行動力へと繋がり、Golden Z Clubの会長や、カンボジア教育支援プロジェクト、英語のスピーチコンテスト、そして就職活動など様々な場面で留学での経験が役に立ち、自分にとっては大きな成果に繋がりました。大学を卒業してからは4年間ウェディングプランナーとしてのキャリアを積んできましたが、もっと英語を使いたい、海外に関わる仕事がしたいという強い気持ちから、現在は海外留学のEF(イー・エフ・エデュケーション・ジャパン)で働いています。留学の魅力が一番知っている私だからこそ、これから海外へ羽ばたこうとしている人々への力になりたい!そんな思いで毎日務めています。

2018年卒業生 宮本 瑞季さん



More than just classroom study!

【教室での勉強ではありません!】

英語を学ぶということは、単に教室で勉強することだけではないと考えています。教室の外でも多くのアクティビティを企画し、学生がより深く英語を学び、多くの人々と出会い、異文化を経験することができる機会を提供しています。



Thesis Poster Presentations



Christmas Event



Tanabata Wishes in English



SDGs Game Activity



Halloween Fun



Easter Egg Hunt at Orientation

We are a community!

【私たちはコミュニティです!】



【親しみやすい環境】

英語学科の自慢は、温かく親しみやすい雰囲気です。クラスだけでなく、他の学年の学生や教員とも友好を深めています。建学の精神である「感恩奉仕」のもと、みんなで支え合っています。



【ピアサポートチーム】

ピアサポートチームは、入学直後のオリエンテーションの時から新生生のガイダンスを行い、新生生の学校生活のあらゆる面について相談に乗り、サポートを行っています。



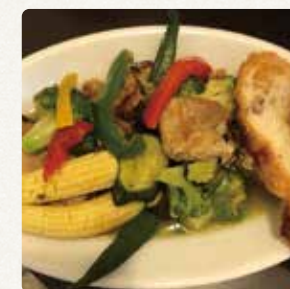
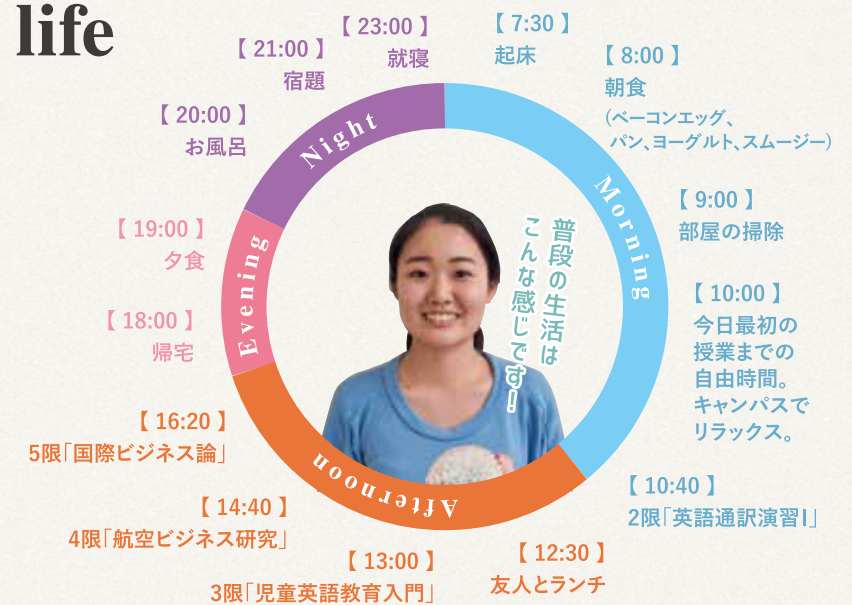
【アドバイザー制度】

アドバイザー制度とは、入学から卒業まで、すべての学生が相談できる先生を持つことです。どの教員も学生がサポートを必要とする時は、いつでも大歓迎です。

A day in her life

【在学生の1日】

みなさんこんにちは、英語学科3年の杉町依寿美です。出身は熊本ですが、今は北九州で一人暮らしをしています。本当に楽しい毎日です。学校の授業では、国際ビジネス論が一番好きです。授業の合間には、会話ルーム「Chatterbox」で映画を見たり、ランチをしたり、友達と話したりします。大学以外では、今、運転免許取得のための勉強をしています。家にいるときは、料理をするのが好きです。私の料理が好きで、よく遊びにきてくれる友人もいます。



English Camp



日々の学びのチャンスは！ 学外・国外にも！



1 北九州市立いのちのたび博物館

「ジオかるた北九州」英語版完成！

「ジオ&バイオ研究会」が作成した北九州の地質や歴史を遊びながら学べる「ジオかるた北九州」を英語学科の学生が英語に翻訳しました。美しい絵を見ながら、身近にある豊かな地質や貴重な生物や歴史を感じてください。英語も併記されているので、英語学習への活用や、海外の方へのお土産にも！北九州市立いのちのたび博物館で購入できます。



2 北九州市環境ミュージアム

地域の課題に授業で取り組む！

「地域プロジェクト」や「教育ボランティア演習」の授業では、地域の課題について学び、大学で学んでいる専門知識を活かしてそれらを解決する方法を探求しています。北九州市環境ミュージアムでは、北九州市の公害克服の歴史や世界の環境問題、市民や企業の環境への取り組みなどについて学んだり、市民向けのイベントに出展したりしています。



3 北九州まなびとESDステーション

SDGsの学びと実践の場！

さまざまな講演会やワークショップに参加したり、自分達で計画した企画を実施したりしています。大学やここで学んだことを活かし、市内のさまざまな団体を訪問して「SDGs出前講座」を行ったり、互いの国を訪問して交流を続けているカンボジアの学生と一緒に「文化交流会」を開催したりしています。



4 北九州ゾンタクラブ

ゴールデンZクラブ

世界の女性をとりまく問題の解決を目指して、国連と協働している団体「Zonta International」の学生組織「ゴールデンZクラブ」が九州で唯一、西南女学院大学に設立されています。「学校への奉仕、地域への奉仕、国際への奉仕」をモットーに、「北九州ゾンタクラブ」をスポンサークラブとして、カンボジア教育支援、地域の学習支援、北九州についての情報発信などさまざまなボランティア活動を行なっています。

カンボジア教育支援プロジェクト

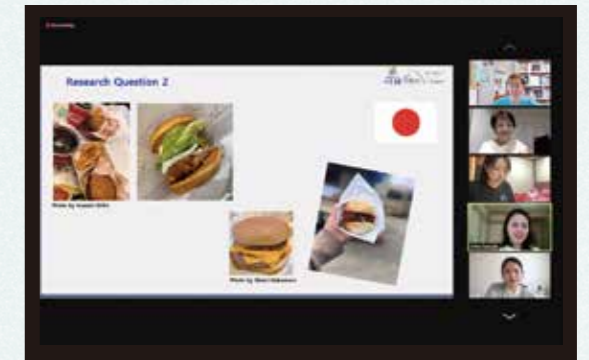


カンボジア特産の黒胡椒を使ったクッキーを販売し、その利益で毎年カンボジアの学校に本を送っています。毎年訪問しているカンボジアの学校では、子どもたちとの交流もおこなっています。



「国際ボランティア演習」では、カンボジアの幼児教育に取り組んでいるチャリティ団体「Tuk Tuk」から依頼を受けて、カンボジアの子どもたちのために紙芝居を作成しました。その紙芝居がプルサット州にある「Tuk Tuk」のパートナー学校で披露されました。

Youth Program in Asia-Pacific



アジア太平洋地域の若者がSDGsに関するテーマについてPhoto Voiceという手法を使って調査し、月に一度のオンライン・ミーティングで調査の結果について話し合っています。

Online Activities



オンラインで国内外のさまざまなカンファレンスに参加しています！JVC(特定非営利活動法人日本国際ボランティアセンター)でインターンをしている学生と「国際協力」について議論しました。

International

